

# ジェンダー通信

NO. 2  
2025. 4

発行者  
青年委員会：高橋 杜  
女性委員会：紺野 美穂

連合山形HP  
連合山形

## 2/28 (金) 連合東北ブロック連絡会「2025女性会議」に参加！

2月28日（金）、ホテル福島グリーンパレスを会場に連合東北ブロック連絡会「2025女性会議」が開催されました。毎年、東北6県持ち回りで開催されており、昨年の山形県開催に続き、今年度は福島県での開催となりました。

連合本部提起では、2025年度活動計画、連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2、男女平等関連課題における至近の動向について説明があり、各県の活動報告では、女性参画や「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2の活動についての情報共有や、活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がりました。



会議の様子      連合山形女性委員会      福島の会場で会議      女性会議に参加したみなさん

## 3/7 (金) 「3.8国際女性デー」周知行動

3月7日（金）、山形市七日町にて、女性委員会とジェンダー平等委員会による「3.8国際女性デー」の周知行動を行いました。女性委員会は「リレートーク」を行い、「3.8国際女性デー」の周知とジェンダー平等推進について訴えました。弁士には、横山愛天童市議がマイクを通じて、市民に訴えました。

ジェンダー平等委員会は、女性のシンボル「バラの花」と「チラシ入りティッシュ」を配布し、「3.8国際女性デー」のアピールを行いました。メディアにも取り上げていただき、NHKと山形新聞からの取材を受け報道されました。



バラの長さを揃える作業      バラにチラシを入れる作業      色とりどりのバラの梱包が完了      女性委員会とジェンダー平等委員会のメンバー



リレートーク待機中      女性委員会によるリレートーク      市民の方にバラの配布      横山愛天童市議による演説

1857年3月8日N.Yの被服工場で働く女性達が低賃金、長時間労働の抗議を行ったことが、「3.8国際女性デー」の起源と言われています。その後1908年3月8日「パン（賃金・労働条件の向上）」と「バラ（女性の尊厳と人権の確保）」を掲げてデモを行いました。以来、この日を『女性の政治的自由と平等のために行動する日』と位置づけられ世界中に広まっています。



## 2/8(土) 2/9(日) 第48回上杉雪灯籠祭り



青年委員会では、米沢市で開催された「第48回上杉雪灯籠まつり」の雪灯籠製作を行いました。今回で3回目の参加となる雪灯籠まつりは2月8日（土）、9日（日）に開催され、青年委員会メンバーで点灯式を行いました。今年は雪の量にめぐまれ、灯籠も昨年より多く製作され、迫力のある幻想的なおまつりが行われました。おまつりを通して、伝統ある文化に触れ、体験することはとても貴重であり、これからも地域貢献活動に参加して地域の伝統などを次世代へ伝えていきたいと感じました。



土台づくり      土台完成！      成型作業

雪灯籠製作の様子を動画にしたので、連合山形HPをチェックしてみてください☆



船山会長による点灯式      青年委員会メンバー      完成した雪灯籠

## 3/1 (土) 2025春季生活闘争勝利！総決起集会

連合山形は3月1日（土）、「2025春季生活闘争勝利！総決起集会」を山形市民会館で開催し、女性委員会は「3.8国際女性デー」のアピール、青年委員会は活動紹介を行い、春闘勝利に向けて決意を訴えました。

女性委員会の「3.8国際女性デー」アピールでは、紙で作った花を受付時に参加者に貼ってもらい、大輪のバラを完成させました。集会では、紺野美穂委員長が「3.8国際女性デー」のアピールを読み上げ、参加者のみなさんと決意を新たにしました。



青年委員会アピール

青年委員会では、2024年度の活動の様子をスライドショーで、今年度参加した「上杉雪灯籠まつり」の様子を動画で流し、青年委員会の活動を紹介しました。高橋杜が委員長は「会場にいる皆様にご視聴いただき、青年委員会について理解を深める機会になればと思います。」と伝え、最後に「私たち青年層の生活のため、働くみんなの生活のため、これから働く次世代のため、署名活動やアンケートなど、小さなことから、自分たちでできることを共に取り組んでいきましょう！」とアピールしました。



スライドショー      女性委員会アピール      紙花の製作中

青年委員会の2024年度活動紹介スライドショーは連合山形HPでチェックしてみてください☆

